

東京ミッドタウンマネジメント株式会社



6月は環境月間
東京ミッドタウン日比谷のSDGsに関する取り組み

「#環境の日はグリーン」に賛同し、期間限定ライティングも実施！



東京ミッドタウン日比谷（所在地：千代田区有楽町、事業者：三井不動産株式会社）は、SDGs（持続可能な開発目標）に関わる取り組みを行っています。SDGsやサステナビリティへの関心は年々高まっており、商品を購入する際に品質や価格だけでなく、生産者や製造過程に気を配る方が増えています。そうしたお客様にも施設を快適にご利用いただけるよう、各店舗やオフィスフロアで実施している取り組みについてご紹介いたします。オフィスでの取り組みとして、ワーカー向けに“life with flower”として、ユニークフラワー（廃棄予定のお花）の配布を実施しています。2021年は春、秋、冬と3回実施、各回約200本を配布し、年間で約600本のフラワーロス削減いたしました。今年もすでに春に実施済み、今後も定期的に実施予定です。

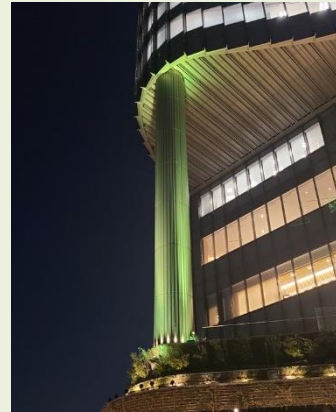
今年は環境省が6月5日に日本全国で実施する新たな取り組み、「#環境の日はグリーン」期間限定ライティングを東京ミッドタウン日比谷でも実施いたします。ライティングカラーを通常時のホワイトから、環境を想起させるグリーンに変え、環境問題への意識向上を啓発していきます。ライティングは、追加の消費電力を発生させることなく、加えて消費電力の少ない省エネ型照明を使用しています。

＜施設・各店舗での取り組み一例＞

オフィスフロアでの取り組み
ユニークフラワーの配布



「#環境の日はグリーン」
期間限定ライティング実施



化粧品容器に
100%再生PET樹脂を使用！
- YA-MAN（1F） -



食に関する取り組み
廃棄予定の食材を活用
- 三分亭（3F） -



～東京ミッドタウン日比谷・オフィスでの取り組み紹介～

“フarrowロス”と“エネルギー効率の向上を目指す” 取り組み

■フarrowロス削減

ワーカー向けに“life with flower”と題して、ユニークフarrow(廃棄予定のお花)の配布イベントを開催しています。2021 年は春、秋、冬と 3 回実施、各回約 200 本を配布し、年間で約 600 本の廃棄予定だったお花をワーカーの皆さんにお持ち帰りいただきました。2022 年 4 月に実施をした際のアンケート※では、実際に花を買った方、買ってみたい方になった方が 9 割を超え、花卉業界の購買促進にも寄与しています。今年もすでに春に実施しており、今後も定期的に開催を予定しています。

協力：第一園芸株式会社

※第 5・6 回 life with flower 参加者アンケート n=24



■エネルギー効率の向上を目指す

オフィスフロアの化粧室には全部で 54 台のハンドドライヤーを備えておりますが、エネルギー使用の観点から、個人のハンカチ利用についても推奨しております。

化粧室への P O P 掲示の他、オフィスフロア内インフォメーションにて、オリジナルハンカチを無料配布しております。ワーカーの皆さまにも大変好評をいただいております、これまでに約 1,000 名の方にこの活動に賛同いただき、ハンカチを配布しています。



～東京ミッドタウン日比谷・施設での取り組み紹介～

「#環境の日はグリーン」期間限定ライティング

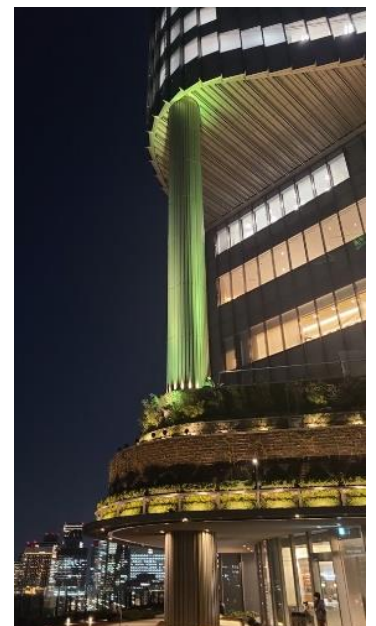
環境省「環境月間」の活動に賛同し、東京ミッドタウン日比谷では通常のライティングをこの期間限定でグリーンにいたします。ライティングは、追加の消費電力を発生させることなく、加えて消費電力の少ない省エネ型照明を使用して行います。

点灯期間：2022 年 6 月 1 日(水)～6 月 30 日(木)

点灯時間：日没～23：00

場 所：東京ミッドタウン日比谷 6F パークビューガーデン ファサード

参 考：【環境省「環境月間」詳細】 <https://www.env.go.jp/guide/envmonth/>



～東京ミッドタウン日比谷・店舗での取り組み紹介～

“食”に関する取り組み

12 つくる責任
つかう責任



■三分亭 (3F)

各業者から、規格外野菜や、期限切れ直前商品を入荷し活用しています。
例えば、傷や汚れが目立つレモンはレモンサワーへ、数週間後に期限切れで廃棄予定だったものを様々入荷し、ランチの定食で活用したメニューは長野県の「抹茶うどん」となります。その他、食材によってディナーの単品メニューなどでも活用しています。



“生産”に関する取り組み

12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



■THREE/REVIVE KITCHEN THREE (2F)

ショッピングバッグには、アクリルやポリエステルを使わず紙のみで作られたペーパーバッグをご用意しています。

2020 年度よりハンドル部分も紙に変更いたしました。

このペーパーバッグには、古紙を 40%以上配合し日本で抄造した THREE オリジナルペーパーを使用しています。

さらに THREE の商品パッケージはすべて環境対応紙を使用しています。
森林認証紙、再生紙、非木材紙を用い環境負荷の低減を目指しています。



“プラスチック削減”に関する取り組み

12 つくる責任
つかう責任



14 海の豊かさを
守ろう



■YA-MAN (1F)

YA-MAN が展開するスキンケアライン「オンリーミネラル Nude」では、飲料用のプラスチックボトルを 100%リサイクルすることで生まれる、**再生 PET 樹脂を用いて製造した化粧品容器を使用**しています。

「オンリーミネラル Nude」は天然由来成分を中心とした素材で作られており、容器も環境に寄り添うことで、より本格的なグリーンビューティーを目指しています。





■「三井不動産9BOX感染対策基準」について

当社グループでは、これまでも施設ごとに新型コロナウイルス感染対策を徹底してまいりましたが、今後新たな変異株が流行した場合においても安心して当社グループの施設をご利用いただくために、医学的・工学的知見に基づくわかりやすい感染対策が必須と考え、グループ共通の「三井不動産9BOX 感染対策基準」を策定しました。当社グループはオフィスビル、商業、ホテル、リゾート、ロジスティクス、住宅等、多様な施設を展開しており、当社グループだけでなく社会全体で共有しやすい項目として提示することで、社会共通の課題解決に貢献したいと考えています。当社は引き続き、安心・安全な街づくりを通して持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

※参考リリース：https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1001_01/

三井不動産グループのSDGsへの貢献について

https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわちESG経営を推進しております。当社グループのESG経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021年11月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】

・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

※なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における目標に貢献しています。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS